

道路事業 一般国道293号 新会沢トンネル (平成24年8月完成)

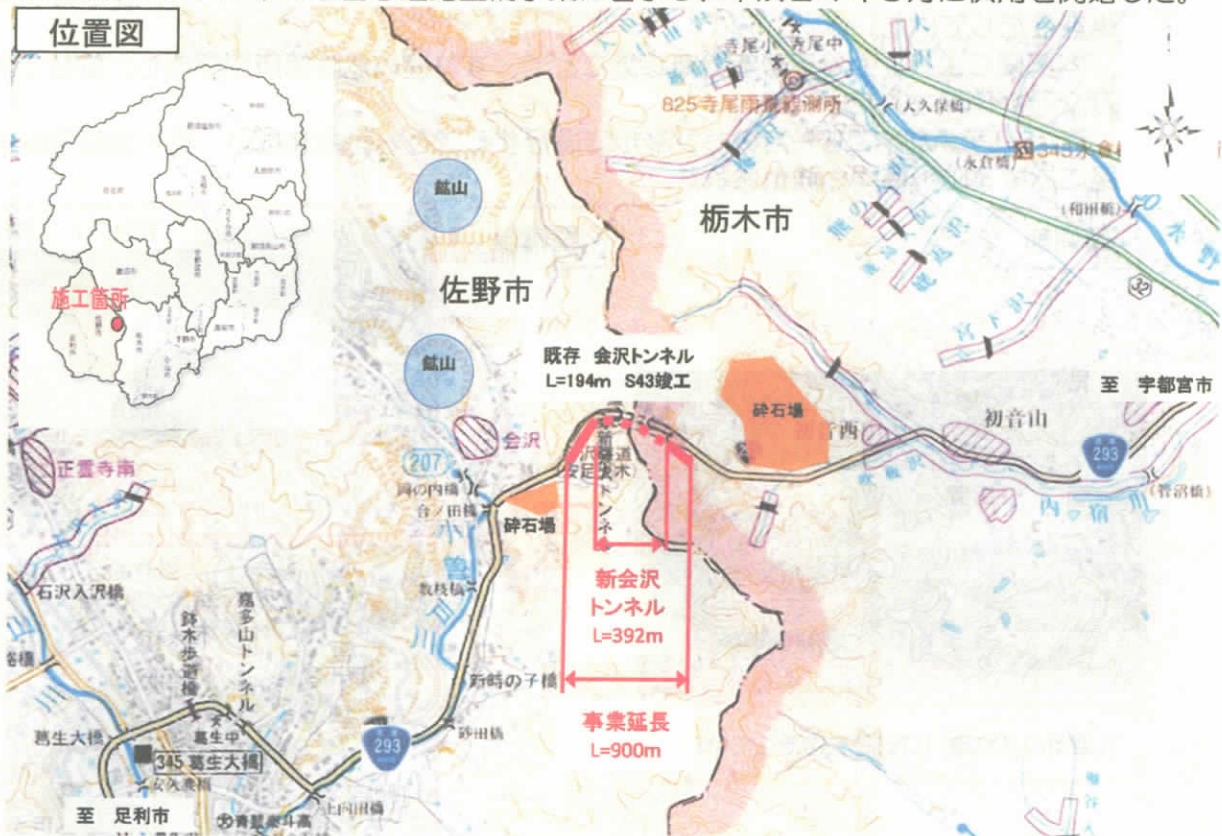
1 事業概要

一般国道293号は、茨城県日立市を起点とし那珂川町から栃木県内を東西に横断しながら、宇都宮市を經由して足利市に至る幹線道路である。また、第1次緊急輸送道路に位置づけられており、重要な役割を担っている道路である。

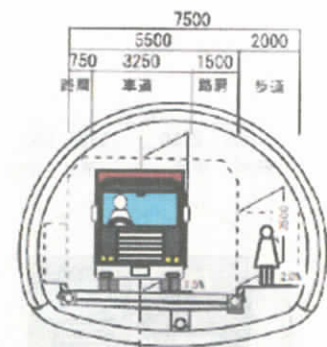
当該地域は、佐野市の地場産業である砕石業や石灰業の採取場が立地しているため、ダンプトラック等の大型車の交通量が多い地域である。

しかし、既存の会沢トンネルは車道幅員が5.5mと狭く、大型車同士のすれ違いに支障をきたしていたうえ、歩道も未整備のため、歩行者及び自転車の通行が危険な状況であった。

このため、既存トンネルを1車線に変更するとともに、南側に歩道付1車線の新たなトンネルを整備することで、すれ違い危険箇所の解消や歩行者・自転車の安全確保を目的に、平成19年度からトンネルを含む道路整備事業に着手し、平成24年8月に供用を開始した。



- ◆ 事業名：快適な道づくり事業
- ◆ 事業主体：栃木県
- ◆ 事業箇所：一般国道293号 新会沢トンネル
(佐野市会沢町～栃木市尻内町)
- ◆ 全体延長：約900m (内トンネル部 392m)
- ◆ 主要構造物：名称 新会沢トンネル 延長L=392m
- ◆ 幅員：W=7.5m (車道 3.25m (1車線)
歩道 2.0m 片側)
- ◆ 総事業費：約18億円
- ◆ 事業期間：平成19年度～平成24年度



新会沢トンネル断面図

2 事業の目的・必要性

- ①すれ違い危険箇所の解消
- ②歩行者・自転車利用者の安全確保

3 事業の整備効果等

<費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化>

事業費 着手前：約14.5億円 → 完成時：約18億円

事業費増加の理由：工事实施に際し、地山状況により工事費用が増加したため

事業期間 着手前：H19～H22年度 → 完成時：H19～H24年度

事業期間延伸の理由：想定外の地山状況により、本体工事の施工に不測の期間を要したため

<① すれ違い危険箇所の解消>

既存の会沢トンネルでは、幅員が狭いうえ、大型車の通行が多いため、すれ違いに支障をきたしていた。

本整備により、上り下りを分離したことで、すれ違い危険箇所が解消し、安全で円滑な交通が確保された。

また、有事の際にも一方のトンネルで通行することも可能なため、第1次緊急輸送道路における防災機能も強化された。

整備前



大型車のすれ違いに支障をきたしていた

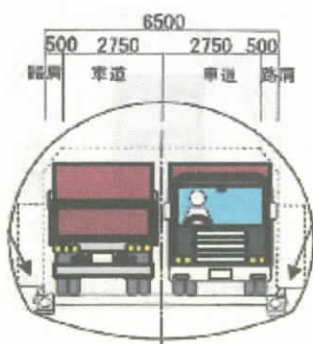
整備後



新会沢トンネル

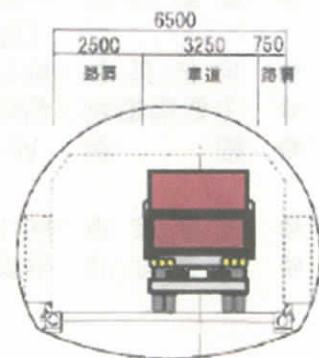


既存会沢トンネル



整備前：既存会沢トンネル断面図

既存トンネルの幅員構成を再配分し、有効活用することでコスト削減を図った



整備後：既存会沢トンネル断面図

<② 歩行者・自転車利用者の安全確保>

既存の会沢トンネルでは、歩道が設置されていなかったため、歩行者や自転車は幅員が0.75mと狭い管理用通路の通行を余儀なくされ、非常に危険な状況であった。

本整備により、新会沢トンネルに歩道が設置されたことから、歩行者及び自転車の安全が確保された。

整備前



歩道がないうえ、路肩も狭く、危険な管理用通路を歩道代わりに・・・

整備後



4 事業実施による環境の変化

特になし

5 社会経済情勢の変化

特になし

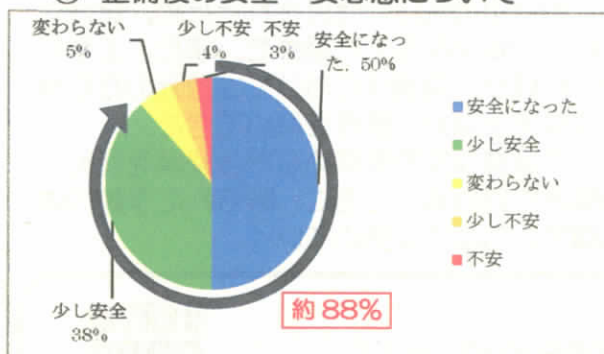
6 地元の声

一般国道293号 新会沢トンネルの整備により、道路利用や生活、環境などにどのような変化があったかを確認するため、地域住民、学校や周辺企業等へアンケート調査を実施した。

(回答総数214件/配布数354件：回答率60%)

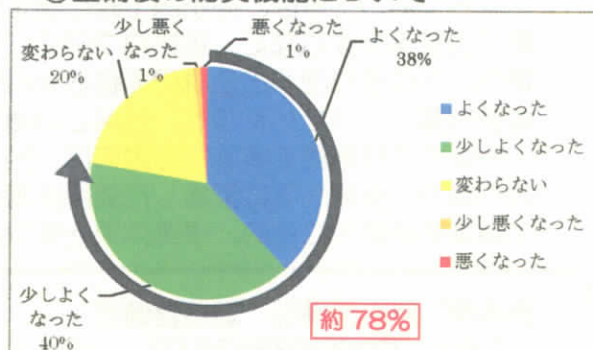
※有効回答数は設問により異なる。

① 整備後の安全・安心感について



・国道293号新会沢トンネルを利用する人は、約9割の方が安全・安心になったと感じている。

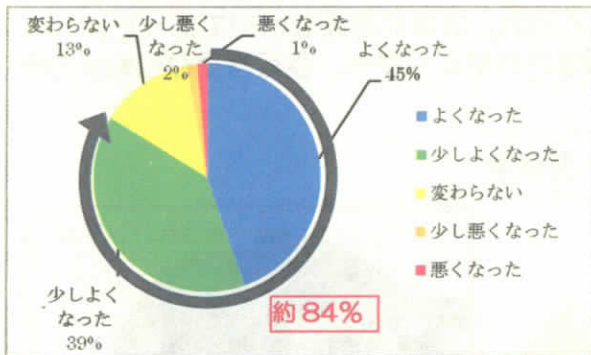
② 整備後の防災機能について



・整備後の防災機能について、約8割の方が防災上、よくなったと感じている。

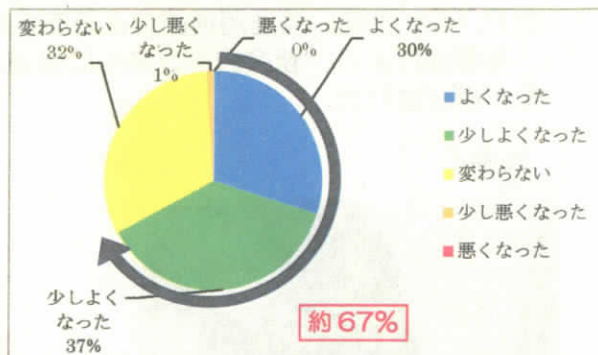
③整備後の環境について

a) 地域間交流や通行のしやすさ



・約8割の方が、交流や通行性について、便利になったと感じている。

b) 業務効率の向上について



・約7割の方が、業務効率がよくなったと感じている。

④ 自由意見（代表的なご意見の抽出）

◇トンネル内の相互交通が解消されて、便利、安全になった。

◇トンネル内が分離され、すれ違いが無くなりトンネル内の運転が怖くなくなった。

◇自動二輪や自転車が通り易くなったように思う。新しいトンネル内は、明るくなり以前の暗いイメージは少しなくなった。

◆登坂車線があるところでスピードを出す車があるため、交通事故が起きるかもと思うと怖くなる。

◆トンネル内が少し暗く感じる。

◆トンネルの入り口で逆走防止の工夫がほしい。

7 今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性

本事業については、整備後の交通状況調査やアンケート調査により、整備にあたり目指していた「円滑な交通と安全の確保」、「防災機能の強化」という目標に対して、十分な効果が得られていることや利用者の満足度が高いことを確認することができた。よって、再度事後評価の必要性はないと考えている。なお、今後は現地のパトロールをはじめ、適切な維持管理に努めていく。

また、アンケートの結果、「スピードの出し過ぎ」、「逆走防止の工夫がほしい」等の意見があった。今後、利用状況を見ながら、さらなる改善の必要性が生じた場合には、交通管理者等の関係機関と協議し対応していく。

8 同種事業への反映

本トンネル工事は、掘削施工時に想定以上の地山の緩みが発見されたため、急遽対策工法を実施するなど、迅速かつ適切に対応し、安全な施工に努めた。また、工事期間中に完成予想図や工法説明の看板を設置したほか、開通式においては地元の方に演舞を披露していただくなど、地域との連携や交流を深め、整備を進めてきた。

今後も同種事業を実施する際には、地元との連携や交流を深めながら整備を進めていくほか、安全性等に配慮した道路計画の策定に努めるとともに、限られた予算の中で事業を効率的に進め、事業効果を早期発揮できるように努めていく。

栃木県 県土整備部 道路整備課

TEL : 028-623-2412 FAX : 028-623-2417

H P : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h04/index.html>

E-mail : doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp

VERY
GOOD
LOCAL
とちぎ